

議会だより



なかさつない



第1回臨時会（初議会）にて（5月9日）

3月定例会

条例改正、補正予算など	P 2～3
予算審議	P 4～9
一般質問	P 10～12

令和5年第1回臨時会（初議会）..... P 13

新議員紹介 P 14 |

所管事務調査報告、編集後記など P 15～16 |

など条例の制定や改正、補正予算を可決～

中札内村議会3月定例会は、3月7日に招集され、会期を16日までの10日間とし行われました。7日には、発議1件と議案13件を審議し、原案どおり可決しました。

再開した10日には、4人の議員が一般質問を行いました。

13日からの本会議では、請願1件を採択し、議案3件を可決した後、16日までの間、新年度各会計予算案6件を審議し、原案どおり可決しました。

新年度予算案を可決した後、議案1件を審議し、原案どおり可決し閉会しました。

発議及び条例制定

3月7日(火)

●中札内村議会の個人情報保護に関する条例

●中札内村個人情報情報の保護に関する法律施行条例

●中札内村情報公開・個人情報保護審査会条例

条例の改正

●中札内村企業立地促進条例

新たな企業誘致を促進することにより、地域の活性化を図るため、

助成対象事業を拡大するとともに支援制度を充実しようとするため、本村条例の一部を改正するもの。

●中札内村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等

●中札内村中小企業者事業資金利子補給に関する条例

3月13日(月)

●中札内村乳幼児及び児童医療費の助成に関する条例

子育て世帯の医療費負担軽減を目的に行ってきた医療機関での自己負担なしとした助成事業を高校生年齢相当まで引き上げるとともに、助成対象外としていた訪問看護に係る基本利用料を助成対象とするため、本村条例の一部を改正するもの。

●中札内村定住促進条例

令和5年度を始期とする『中札内村住生活基本計画』の改訂に伴い、定住促進支援の拡充を行うため、本村条例の一部を改正するもの。

●中札内村国民健康保険条例

国民健康保険法施行令が改正されたことから、国民健康保険出産育児一時金の額を同様に引き上げるため、本村条例の一部を改正するもの。

路線認定

●村道の路線認定について

●村道の路線変更認定について

中札内村農業協同組合から寄附採納を受けた用地を新規に道路認定するとともに、「株式会社ふきのとう」との土地売買に伴い、道路起点を変更するもので、議会の議決を得ようとするもの。

補正予算

3月7日には、一般会計で4億1144万円の追加補正、国民健康保険特別会計で181万円、介護保険特別会計で81万円、後期高齢者医療特別会計で165万円の減額補正がされました。

また、簡易水道事業会計では、収入で1583万円、支出で3234万円の減額補正、公共下水道事業会計では、収入で223万円の追加補正、支出で1743万円の減額補正がされました。

3月16日には、一般会計で349万円の追加補正がされました。補正内容と質疑の主なものを掲載します。

3月7日(火)

一般会計

●財産管理費

・調査設計委託

406万円

ときわ野分譲地東側残地の一部を宅地分譲地として造成するために追加するもの。

年度内での完了が困難なことから、次年度へ予算を繰り越すもの。

★黒田議員

問 宅地分譲地として何戸分を予定しているのか。

また、工事期間はどの程度を見込んでいるのか。

答 具体的な区画数は現段階では決めていないが、6、7区画ぐらいを想定している。区画の面積については、住宅価格が高騰しており、若い方にも取得しやすい形での分譲として大きい区画ではない分譲を考えていきたい。

工事期間は、11月ぐらいに完了することを目標として手続きを進めている。



◆令和5年3月定例会～個人情報保護条例

●まちづくり推進費

・ふるさと納税サイト掲載委託

515万円

★大和田議員

問 ふるさと納税の経費は寄附額の5割以下というルールがあり、中札内村では3年連続で5割を超えている。3年連続で超えた理由と5割以下に抑える努力をしたのか確認したい。

答 理由としては、関東や関西圏などの都市圏からの寄附が多いこと、クール便等で送る割合が高いことで、送料がどうしても高くなる。

また、経費を下げる取組みとしては、配送業者の変更や寄附単価の引き上げを行っている。

今後、常温で送付することが可能な返礼品や体験型の返礼品等の充実を図ったり、ふるさと納税の独自サイトの構築をすることで経費の抑制を図っていきたいと考えている。

●塵芥し尿処理費

・生ごみ処理施設建設工事

▲51万円

入札による事業費確定により減額するもの。

★中西議員

問 生ごみ処理施設建設工事が3月24日に完成するということが、完成状況とすぐに新施設が稼働できるのか確認したい。

答 現在、3月中に機械が搬入されるという話を聞いているので、その後、据付が終わり、試験運転が行われるが、3月中にはやり終えたいと考えている。

新施設については、徐々に移行していく形を想定している。旧施設も令和5年度中は何かあった場合に備えて、残しておこうと考えている。

安定したら新施設を100%稼働する方法にしていきたいと考えているので、4月に新施設で全面稼働という形にはならないと考えている。



中札内村食品残渣物処理施設

●畜産振興費

・みどりの食料システム

戦略緊急対策交付金

3080万円

法人が整備するバイオガスプラント施設で生産される消化液の適期散布を可能とする消化液散布車2台の導入に対して、道補助金2分の1相当分を追加するもの。

★宮部議員

問 今回の交付金は、大規模酪農法人が補助事業でバイオガスプラントを導入するに当たり、消化液散布車が必要になったものだと思う。農業関係の補助金については通常、村を経由するものだと思うが、バイオガスプラント導入に関する補助金が補正予算には計上されていない。計上していない理由を確認したい。

答 村内の1法人がバイオガスプラント建設に着手することで動いている。ただ、この補助金については、直接補助という形で、事業実施主体が道経由で国に申請する形となっているので、村の会計を通らない制度になっている。

●商工振興費

・まちなかキッチンスタジオ

建設工事関連予算

3億5088万円

外構整備設計委託費、まちなかキッチンスタジオ建設工事費、備品購入費等を追加するもので、次年度へ予算を繰り越すもの。

★木村議員

問 村の負担額はどのくらいになるのか。

また、外構整備設計委託について、パブリックコメントやまちづくりトークで、車や利用者の導線、緑地帯の配置などの意見が出ていたが、今後どのような形で住民の意見を聴取していくのか。

答 予算では、一般財源の持ち出しとして1億円程度を見込んでいる。

また、入札で委託業者が決まった段階で、キッチンスタジオと同様に住民座談会などを開催する中で住民の意見を聞きつつ、外構については検討していきたいと考えている。

3月16日(木)

●新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費

349万円

国が5月から8月までの春夏追加接種の方針を示したことから、接種体制確保委託、システム改修委託等の事業費を追加するもので、次年度へ予算を繰り越すもの。

ツブ元年のまちづくり施策とは？～

令和5年度
予算審査

第7期まちづくり計画のテーマである『みんなでつくる！自然と笑顔になるまち なかさつない』を実現するため、令和5年度を『少子化ストップ元年』と位置付けて子育て支援・少子化対策を施策の柱に据え、温かみある村民融和の『優しく穏やかな美しい村』を執り進めていくために、健康で文化的な村民の暮らしを支える各種重点施策の推進を図る予算となっています。

一般会計は前年度対比1.6%増の55億880万円となっています。増加の主な要因としては、子育て施策事業の創設・拡充、農業者の土づくりに対する負担軽減を図るための『農畜産物土づくり特別支援金』や中札内村農業協同組合が導入する枝豆ハーベスターに対する補助金を計上したことによるものです。

3月定例会での予算審査における質疑・答弁の主なものについてお知らせします。

一般会計

●財産管理費

808万円

★宮部議員

問 令和5年度にときわ野の東側に分譲地を造成するが、その後の分譲地についてはどのように考えているのか。

答 今のところは大規模な宅地分譲を計画していない。遊休地や取り壊した後の跡地利用など、分譲地として可能な部分については出来るだけ分譲に向けて計画をもって進めていきたい。

●コミュニティバス運行管理費

1305万円

★木村議員

問 アンケートではデマンド方式の導入を考えた方が良いという意見も半分ぐらいの方から出されている。検討状況について確認したい。

答 令和3年度に見積もりを取っているが、経費が高額であることが課題となっている。

その他にも電話予約を受けるオペレーターの確保、運行管理システムの導入、新たな車両の購入、運転手の確保などの課題もある。需要が見込まれる状況になれば、

検討を進めていくことになるが、現在はいくくる号の運行をメインと考えている。

★大和田議員

問 令和5年度からエアポーツパへの運行が行われるが、どの程度の要望があつて運行することとしたのか。

答 アンケートの結果も参考にしている。村内で初めての温浴施設が新しく出来たことから、総合的に勘案して運行することとした。



くるくる号

●まちづくり推進費

・六花の森イベント事業補助金

800万円

★船田議員

問 当日参加できない村民に向けて、映像配信を出来ないか。

答 実行委員会において、映像配信出来るかどうか検討していきたい。

★大和田議員

問 令和4年度に多額の宣伝を行った理由と令和5年度はどのような宣伝を行う予定なのか確認したい。

答 令和4年度は1回目でもあり、このイベントを知っていたら

くことが必要と考え、広告宣伝に力を入れた。

令和4年度で一定の周知効果が図られたと考えており、広告宣伝費を減額し、バスの運行、会場運営等の経費に充てたいと考えている。

★北嶋議員

問 村内のお年寄り、子どもたちが中心となるイベントにすることは出来ないのか。

答 村民参加は大切な視点と考えており、令和4年度は村内の高齢者、子どもたちを対象に手作りライトのワークショップを開催してきた。

令和5年度も、ワークショップ以外にも村民参加を募る仕掛けを引き続き実行委員会を検討していきたい。



昨年のロッカノヨルの様子

●ふるさと納税費

・独自サイト導入業務委託

330万円

★木村議員

問 導入時期はいつぐらいを想定しているのか。

◆令和5年3月定例会～少子化スト

答 現在は大手のポータルサイトを利用した寄附が増えており、1件当たりの手数料、サイト掲載委託料がかかっている。新たに直営でサイトを構築することで大手の委託料等を低減させていきたいと考えている。

導入時期は決まっていらないが、経費を低減させるためにも早急に取り進めたいと考えている。

●社会福祉一般経費

・十勝エアポルトスpara

使用料 43万円

★黒田議員

問 更別村温泉と同様に年12回とされているが、もつと回数を増やすべきであると考えている。

答 更別村温泉に合わせた形で年12回を設定した。合計24回利用できるようにするので、ご理解いただきたい。

●生活支援事業費

・高齢者等通院タクシー

交通費（扶助費）

182万円

★黒田議員

問 利用が少ないことから助成率をアップしたということだが、回数制限は設けているのか。

答 現状では年48回という制限を設けている。人工透析で通院

している場合には週6回としている。回数に関しては現状から変更していない。

●子育て支援事業費

542万円

★木村議員

問 一時保育の対象を1歳まで引き下げたが、どのように対応していくのか。

答 今年度までは正規職員1名とパート職員1名で対応していたが、令和5年度からは正規職員1名、フルタイムの会計年度任用職員1名、臨時職員2名で対応することとしている。

●有害鳥獣対策費

891万円

★宮部議員

問 アライグマの捕獲数も増えているとのことだが、令和4年度の捕獲数は。また、今後の対応策を考えているのか。

答 令和4年度の捕獲数は13頭で、前年度よりかなり増えている。対策としては、今のところは檻を設置する程度だが、特殊な音を発生することで対策をする機器を使えないかどうか、将来的には考えていけるかなと思っている。

●診療所管理費

・医師住宅建設工事

5000万円

★宮部議員

問 住宅建設に当たり、医師の要望を取り入れるのか。

答 令和5年度に村の方でこのような形で取り進めたいという話をしている。医師からは部屋数の要望を頂いているが、細かな話になると建築業者が関わってくるので、決まった後に調整を図っていききたいと考えている。

●保健センター管理費

・保健センターエアコン設置工事

2315万円

★黒田議員

問 7箇所に設置するとのことだが、事務所や警備員室には設置するのか。

答 事務所については設置を予定している。警備員室については設置を考えていないが、予算の範囲内で設置が可能であれば検討したいと思う。

●七色献立プロジェクト

・七色献立ポイント事業景品

310万円

★大和田議員

問 ポイントを貯めることが出来ない人もいるので、そういつ

た方々に対応するような対策は行っているのか。

答 活動があまり出来ない人についても、他の事業に参加することでポイントが付与出来るように試行錯誤で研究しながら制度設計をしている。

ポイント付与については、歩ける人以外の人でも楽しんで参加していただくような仕組みをこれまで構築してきた。今後も継続していきたいと考えている。

●母子保健事業費

・母子保健指導用備品

164万円

★木村議員

問 スポットビジョンスクリーナーを導入し、3歳児健診で使用するとのことだが、就学時前健診、高齢者等の健診で活用する考えがあるのか確認したい。

答 健診スタッフが適切に使用できるような研修会が必要となる。検査体制を整えたうえで更に用途を広げていくか検討していきたいと考えている。

※スポットビジョンスクリーナーとは：弱視の早期発見のために数秒でスクリーニングできる機械のこと。



アップ元年のまちづくり施策とは？～

●農業振興推進費

・農畜産物土づくり

特別事業支援金

1億128万円

★黒田議員

問 国では肥料等の国産化についての大綱を策定しているが、

国産化に向けた村の考えは。

答

価格高騰、ウクライナ情勢を踏まえて、国が政策を打ち出して審議をしている段階である。

国の政策が決まり次第、新たな対策も含めて農協とも協議しながら進めていきたい。

●牧場管理費

・牧場管理委託

1億8752万円

★宮部議員

問 使用料収入との差が拡大しているが、農協と支援について協議する段階に入ってきているのではないかと思うが。

答 管内で使用料を値上げするところもあるが、令和5年度は据え置くこととした。ただ、将来的には一部を酪農家に負担を求めていくことも検討していかなければならないと思っている。

意見交換会の中で牧場の運営のあり方を課題として出している。今後、農協と課題を共有しながら

解決策も含めて話を進めていきたいと考えている。

●畜産振興費

・中小家畜飼料価格

高騰対策支援金

901万円

★宮部議員

問 肉牛の販売価格がかなり下がっている、肉牛に対する支援が1頭1000円では足りないのではないかと思うが。

答 農協や関係者にヒアリングをする中で単価設定の検討をしてきた。

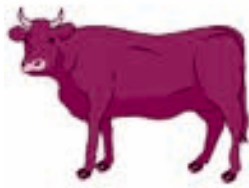
生産抑制をされている訳でもないし、一定の生産を行えば、その分の収益があるという点や管内状況を参考にして、単価設定をさせていただいた。

●牧場管理費

・大規模草地育成牧場設備

設置工事

945万円



★船田議員

問 C牛舎にカーテンを設置することにした経緯は。

答 C牛舎は平成に建設した牛舎で、今後も長く使っていく予定であることから、令和3年度から順次改善してきている。

これまで換気扇設置、ストール改修、牛床マットの入替を行ってきた。まとめて実施出来れば良いのだが、予算の都合もあり、計画的に整備を行ってきている。

●観光費

・やまべ放流祭50周年記念

事業補助金

600万円

★黒田議員

問 どのようなイベントを行うのか確認したい。

答 大自然を体感してもらえような催し物、やまべを前面に出して食の提供などをコンセプトにしたイベントを中心に実行委員会を検討していきたい。

★船田議員

問 50周年記念ということで、新たなスタートとなるのか、今回で一区切りとして終わらせて、新たな発展に向けた形に見直すのか、確認したい。

答 50周年記念ということで、新たなスタートとなるのか、今回で一区切りとして終わらせて、新たな発展に向けた形に見直すのか、確認したい。

答 50回を実施した後で、改めて検討していきたいと考えている。

●観光費

・観光振興事業補助金

2551万円

★黒田議員

問 令和4年度に比べて400万円ぐらい増額しているが、要因は。

答 一番の要因は人件費で、観光協会の人員が2名増えることによるものである。

2名増員した理由としては、映像配信等を行っているが、観光情報の発信に力を入れていくこと、村外へ積極的に出向いて観光PR等を行うためである。



やまべ放流祭

◆令和5年3月定例会～少子化スト

●商工振興費

・地元飲食店子育て応援

事業委託

165万円

★木村議員

問 協力してくれる飲食店はどれぐらいなのか。

また、対象者への周知方法を確認したい。

答 詳細は委託先である商工会と調整を行って決めるが、村内事業者13店舗ぐらいに声掛けをしていきたいと考えている。

周知方法としては、情報無線やメール、LINE、広報紙、対象となる学校・保育園などでのチラシ配布を考えている。

●観光費

・食と観光

プロモーション事業補助金

480万円

★宮部議員

問 この事業はふるさと納税の寄附者対象としたものなのか確認したい。

答 ふるさと納税の寄附者だけではなく、村にゆかりのある方、中札内のファンの方など、中札内をPRする意味合いも含めて実施していきたいと考えている。

●道の駅関連施設管理費

・電気自動車用急速充電器

運用負担金

20万円

★大和田議員

問 何名ぐらいの方が利用されたのか。

答 2月末までで456回の利用で、月平均としては40回程度となっている。

●札内川園地管理費

・トイレ炊事場整備調査

設計委託

820万円

★黒田議員

問 工事を低減するために1箇所ずつにすることは出来ないのか。

答 夜間に吊り橋を渡ることが危険であるという声もあることから、それぞれにトイレと炊事場を整備したいと考えている。

●公園管理費

・公園管理委託

672万円

★木村議員

問 令和4年度に比べて増額となっている要因は。

また、就労センターの人員の確保は大丈夫なのか確認したい。

答 増額の要因は人件費の単価上昇分である。

また、現状では人員を確保するのが難しい状況であると聞いている。



鉄道記念公園

●道路維持費

・道路維持管理用備品

50万円

★黒田議員

問 縁石等の隙間の雑草除去用の草刈機を導入することだが、作業はどのように行う予定なのか。

答 最初は施設課職員が直営で草刈作業を行っていきたくと考えている。その後、道路維持委託を担っている企業体に貸与し、引き続き草刈の管理を行っていただきたいと考えている。

●道路改修費

1637万円

★黒田議員

問 エアポートスパそらに向かう村道44号道路は道路幅が狭く、冬場にすれ違う際や東4線道路から44号道路に入る際に危険な状態である。

村としてはどのように把握されているのか確認したい。

答 冬場のすれ違いに対する運転手の苦慮についても十分認識をしている。現況道路を拡幅、2車線にするためには現在の道路敷地幅では不可能で、道路用地取得が必須となるが、拡幅することにより事故発生が懸念される。

冬期間については、路面整正並びに焼砂散布等、安全な車両走行のための道路管理を実施している。

●公営住宅建設事業費

・公営住宅等設計委託

319万円

★中西議員

問 上札内地域振興住宅の建設予定の場所と建設時期を確認したい。

答 上札内東団地を取壊した住宅の跡に建設を考えていきたい。建設時期については、なるべく早く発注して完成するような方策に努めていきたい。

ツブ元年のまちづくり施策とは?～

●除雪費 ・除雪委託

7000万円

★船田議員

問 毎年、同じ方向から除雪しているが、逆方向に除雪することとは出来ないのか。

答 作業を行っている企業体に申出をして協議を進めてきた。これまでと逆回りになることで作業効率、施設の破損の確率も高くなってしまうと企業体では話されていた。

今後、内部で調査研究をしていきたい。

★中西議員

問 屋根からの落雪で道路の半分ぐらゐまで埋まることがある。この件については持ち主に対する連絡だけのことで済んでいるのか確認したい。

答 屋根からの落雪は個人対応になつてしまうことから、村からは注意喚起を促してきているが、なかなか行つていただけない状況も認識している。

歩道、道路への屋根からの落雪は、道路管理者である村で処理を行つてきたが、更なる注意喚起が必要であると考えている。

★北嶋議員

問 除雪をしている業者を維持していくための方策は。

答 令和2年度から現場管理費の経費、最低保証の時間数を増やすなど対策を講じてきている。問題を抱えていることは村としても認識しているし、今後も検証していきたいと考えている。

●定住対策費

・定住促進補助金

3721万円

★船田議員

問 今年度から住宅リフォーム支援金が追加されたが、二世帯住宅はどのような取扱いになるのか。

また、数回に分けてリフォームした場合の取扱いは。

答 二世帯住宅は1つの住宅と捉えている。

また、この支援金を使えるのは1回のみとしている。

★宮部議員

問 中札内スタイルの基準緩和があるのか確認したい。

答 意見聴取する中で『芝生の管理が難しい』『雑草になってきた』などの状況も確認できたことから、防草シートを敷いたうえで、しっかりと人口芝を張り付け

る場合は対象とすることにした。

●中札内中学校管理費

・教室増設工事

8472万円

★船田議員

問 増設した教室は何年間ぐらゐ使われるのか。

答 令和5年度の6年生が2クラスなので、3年間は普通教室として使用する。その後の乳幼児までの人数推計を見ると1クラスの予定である。

逆に特別支援学級の児童・生徒が少しずつ増えてきているので、そういった生徒が活用できるように変えて、継続して普通教室として使っていく考えである。



中札内中学校

●学校給食業務費

・賄材料費

2847万円

★宮部議員

問 現在は村が食材の高騰分を負担しているが、どの段階まで

村が負担していく考えなのか確認したい。

答 改定を行ったばかりで、負担額をすぐに変更する訳にもいかないの、当面は村が負担していく考えである。

食材の値上がりが落ち着いた段階で算定し直すことが必要と考えている。ただ、上がりすぎた場合には軽減を考えていかなければならないと考えている。

●教育振興費

・会計年度任用職員報酬

2084万円

★大和田議員

問 学校特別支援員7名の内訳を確認したい。

また、令和4年度はスクールサポーターが配置されていたが、継続して配置されるのか。

答 中札内小学校に5名、中札内中学校に2名を配置する。上札内小学校については特別支援学級が学年をまたがないことから配置しないこととした。

また、スクールサポーターは消毒などの作業が大変であることから配置されていた。

今年度については8学級以上の学校への配置となり、中札内小学校のみ配置されるが、7月末までの配置となる。

◆令和5年3月定例会～少子化スト

●教育委員会事務局費

・山村留學生補助金

300万円

★船田議員

問 引越費用助成について、実態に即した形に近づけた方が良いのではないかと。

答 金額ではなくて、一部を助成するという考えで、他町村ではこういった助成を行っている所はあまりない状況である。

本村ではその他にも1人月額2万円という助成もしているのですが、手厚く支援をしていると考えている。

●体育施設管理費

・運動公園・PG場管理委託

1013万円

★宮部議員

問 247万円ほど減額となっている要因は。

答 草刈りの回数の変更で、上札内PG場を週2回から1回に減らし、運動公園のPG場については10月から1回に減らすこととしている。

また、野球場の草刈りを就労センターに依頼するように変更した。

●文化創造センター管理費

・音響・照明及び図書館業務委託

2780万円

★黒田議員

問 令和4年度に比べて1100万円程度増加している要因は。

答 図書館司書賃金をこれまででは村の嘱託職員ベースで算定していたが、現在は制度が変わり、会計年度任用職員ベースで算定するように見直しをかけている。

また、ホールの利用回数が2倍近くに増加していることから、技術スタッフ1名で対応するには限界と判断している。また、現在のスタッフは60歳代となっていることから、将来的な後継者として、新規に1名分を追加し予算計上している。



文化創造センター

●中札内交流の杜管理費

4061万円

★北嶋議員

問 今後どのように進めていくのか確認したい。

答 まちづくり計画の後期計画に掲載できるように令和7年度までに方向性を検討したいと考えている。



交流の杜

●体育振興費

・スポーツ振興奨励事業補助金

145万円

★木村議員

問 拡充した内容を確認したい。

答 拡充内容としては、全道規模の大会については要件を撤廃し、助成率も10割に拡充し、回数も無制限とした。

また、参加費は対象外としていたが実費額を助成することとした。宿泊費は上限を8000円とした。引率する指導者は対象外としていたが、登録選手10名未満であれば1名、10名以上であれば2名を限度に対象とした。

●国際交流費

・中札内村青少年国際交流派遣研修事業補助金

586万円

★黒田議員

問 令和5年度の事業内容を確認したい。

答 アメリカハワイ州エバマカイミドルスクールと再開することを確認している。

時期は12月に来村され、3月に訪問することになる予定である。これから打ち合わせを行う予定で、多少のスケジュールの変更があるかもしれない。

本村から訪問するのは中学2年生で、10名程度を予定している。

村から提案された予算について審査を行い、可決しました。

予算に対する質疑や提言が、令和5年度の予算執行にあたり十分に効果が発揮されるよう、議会として引き続きチェック機能を果たしていきます。



●道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもに
ゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の採択を求める請願

提案者 中札内村地区連合会 紹介議員 木村 優子

— 意見書は採択となり、関係機関に提出しました。 —

村政のここを教えて!!

～一般質問～

〈現任期最後は4人の議員が登壇〉

まちづくりと持続可能な 行政運営について

木村議員 職員の意欲・能力が発揮できる職場環境を

森田村長 健康に配慮した労務管理と職員の完全補充に努める



〈木村議員〉

住民サービス向上や持続可能な行政運営を進める上で、職員一人ひとりが健康で意欲・能力が発揮できる組織づくりが重要と考え、次の点について伺います。

- ①時間外勤務の現状と改善策は。
- ②職員定数と現員数との差への対応と今後の採用計画は。
- ③機構改革の考えは。

〈森田村長〉

①時間外勤務が3カ月で90時間超の職員や時間外勤務と在庁時間の不一致など、労務管理に問題があると認識している。管理職のマネジメント力向上の研修を実施し、全てに勤怠管理システムを導入する

など、管理意識の向上、退庁時間の共有、時間外勤務運用ルールの徹底を図る。時間外勤務削減に向け、業務効率化や分担見直しを行い、健康管理を第一に過重労働やサービス残業に繋がらぬよう努める。

②年度途中の退職や休業等で欠員が生じ、現員体制や会計年度任用職員の配置で対応している。今後は職員の完全補充をはじめ業務量に応じた人員配置を点検し、職員の定数引上げも検討していく。また、退職者数に限定せず、人材育成に配慮し、前倒しで職員を採用する。専門職は学校等への採用募集の働きかけを積極的に行う。

③まずは縦割りを打破し村政に関わる様々な課題を自分事と受け止める意識改革を行い、業務の横展開を推進し組織運営力を磨くことが肝要。職員や組織能力向上は村民への最大の福祉施策と考え、それを停滞させる課題が確認されれば機構改革に着手する。

村民と一体となった村づくりを

北嶋議員 豊かで住み良い村の維持を

森田村長 社会情勢に応じ実施したい

〈森田村長〉
中札内村は2022年で開村から75年を経過し、この間、

私は村民と村が一体にならなければ、豊かで住み良い村を維持できないと思っています。村はどのように考えているのか伺います。

豊かで住み良い村となったのは、村民と村が一体となって頑張ってきたからで、村民参加で作る、村民のための行事、事業であってほしいと思っています。

昔は、村民運動会、盆踊り、秋祭り、冬祭りと村民が参加できる行事が沢山あり、大勢の村民が集まり、楽しい交流の場でありました。村も地区懇談会等で地区に出向いていました。

〈北嶋議員〉



市町村合併協議など厳しい局面と幾度も対峙しながら、進取の気性に富み、開拓精神にあふれる穏やかな中札内村民は、村民憲章に謳われているとおり、互いに助け合い、幸せな村を築いて参りました。

時代の移り変わりとともに、核家族化の進行や情報化の急速な進展などライフスタイルは多様化し、住民生活も大きく変貌を遂げましたが、持続的な美しい村の実現にはこれからも、村民がまちづくりに関わりやすい、村が一体となった地域コミュニティの醸成が不可欠と考えています。

村としても、普遍的な価値を持つ健康や文化を核としながら、社会の多様化に柔軟に対応して、村民が参画しやすい行事や事業の実施に努めて参ります。



脱炭素社会推進に向けた村の姿勢について

大和田議員 本村も「ゼロカーボン宣言」表明を

森田村長 「美しい村」を基本としたまちづくりを進める

地球温暖化により、気温の上昇や集中豪雨の発生など生活への影響が深刻であることから、本村も脱炭素社会を目指す。次の点について伺います。

①「第3期地球温暖化対策実行計画」が今年度終了することから、5年間の評価や改善すべき点と、第4期計画に向けて、目標だけで終わらせない実行性のある具体的な考えはあるのか。

②十勝管内19市町村のうち帯広、音更、上士幌、士幌、鹿追、清水、更別、大樹、足寄、陸別の10市町村が「ゼロカーボン宣言」を表明し、二酸化炭素排出抑制に向けて取り組みが始まっている中、本村も「ゼロカーボン宣言」に向け

〈大和田議員〉



努力すべきと考えるが見解は。

〈森田村長〉

①「第3期計画」は役場庁舎をはじめとする公共施設等を対象とした「事務事業編」が中心だったが、次期計画は範囲を拡大し、村民や事業者における二酸化炭素排出量の削減目標を定めた「区域・施策編」をあわせて策定したいと考えており、その骨格案を住民の皆様にし、意見をいただく中で「第4期地球温暖化対策実行計画」を策定したい。

②「美しい村連合」の目指すところに、二酸化炭素排出抑制に向けた取り組みが含まれており、新しい生ごみ処理施設、地中熱設備導入、公共施設のLED化、美化活動等に取り組みとともに、次期計画である温室効果ガス抑制に向けた施策を進めていく。



带状疱疹予防接種の 費用助成について

船田議員 ワクチン接種費用助成の考えは

森田村長 接種費用助成を検討したい



〈船田議員〉

带状疱疹予防接種について、国は50才以上の被保険者を対象として、2種類のワクチンから選択しての接種を奨励しています。昨年の広報7月号の中札内村立診療所便りで、予防接種の案内が掲載されていました。近年村内でも、带状疱疹に罹患する傾向が見られます。一方で、ワクチンの接種費用が高額なことから予防接種を控える向きもありますので、次の事項について伺いたいします。

〈森田村長〉

①中札内村立診療所で带状疱疹と診断された方は、令和3年度21名、令和4年度22名で、ワクチン接種者は、水痘ワクチン7名、带状疱疹ワクチンが11名と伺っています。

②発症予防効果は、水痘ワクチン1回接種で50%、持続期間5年程度、带状疱疹ワクチン2回接種で9年以上とされています。

③接種料金はワクチンの購入単価に初診料等を上乗せした金額で、医療機関によって違いがあります。

④現時点で、費用助成をしている管内自治体はなく、新年度に向けていくつかの自治体で予算計上していると聞いています。

⑤村立診療所から助言をいただき、管内状況を踏まえ、令和5年度予算計上に向けて検討しましたが、子育て支援策の一つとして、優先的に小児のおたふくかぜワクチンの接種を推進し、接種費用助成を計上しましたので、今後、国や管内自治体の情報収集を行い、村の接種費用助成を検討していきたい。

日高山脈国立公園化と 上札内地域の振興策について

船田議員 上札内地域の活性化をどのように考えているのか

森田村長 アンケート結果を見極めながら検討する

〈船田議員〉

①日高山脈襟裳国定公園が今年の4月以降に国立公園指定の見通しですが、この流れのほかに新たな情報などが示されていますか。

②日高山脈国立公園化PR事業実行委員会が、村の予算で講演会開催など積極的に活動されていますが、行政としての村民への情報発信や今後の取り組みについて、どのように進められるのか伺います。

③拠点となる施設はどのようなになっていますか。

④国立公園指定後の上札内市街地の位置づけをどのように考えていますか。

⑤上札内小学校の将来展望をどのように考えていますか。

〈森田村長〉

①環境省と関係自治体及び地権者と協議、調整を行っており、現段階では具体的な指定時期の目途を示すことができない状況と伺っています。

②関係市町村と地域連携を視野に入れた各種事業の取組みは今後も継続し、国立公園化に向けた機運を高めてまいります。

ます。

③環境省が拠点施設、ビジターセンターについて、公園計画の中で機能等の設置のあり方を検討していくと伺っており、本村には「日高山脈山岳センター」があり、展示機能の見直しや登山者への情報発信体制等の構築など、中部日高山脈地域の拠点施設となるようソフト、ハード両面でその機能の充実を進めてまいります。

④上札内交流館や桜六花公園、札内川園地を含めた南部エリアを一体的に捉え、既存施設や豊かな自然環境など地域資源を活かしたPRを進め、上札内市街の活性化にもつながっていききたい。

⑤今後、留学を希望する児童の推移が大きく影響してまいりますので、保護者や地域の方々と協働して事業継続の支援体制を図り、日高山脈の優れた自然の学習など特色ある教育活動を展開して魅力ある学校づくりを進めてまいります。

令和5年第1回臨時会（初議会） ～村議会新体制で始動～

4月23日投開票の中札内村議会議員選挙で新たに8人の議員の当選が決まりました。議会の構成に関わる初議会（第1回臨時会）が5月9日に開かれ、議長、副議長のほか、各委員会の構成が決まりました。

その他、村からの提出議案の審議内容なども併せてお知らせします。

承認

●令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認について

ふるさと納税の経費削減による基金積立の追加や村内事業所より寄附があり、積立予算に不足を生じたこと、また、令和4年度中のふるさと納税返礼品の年度内での発送完了が困難なことから、令和5年度へ予算を繰り越す必要があるため、専決処分したものの。

●令和5年度一般会計補正予算の専決処分の承認について

マイナンバーカードの申請支援を令和5年度も継続するため、必要となる費用を専決処分したものの。

条例の改正

●中札内村税条例

国において本年3月31日付で公布、4月1日から施行された、地方税法等の一部を改正する法律ほか関係政令並びに省令の一部改正に伴い、村税条例の内容を調整する必要があることから、本村条例の一部を改正するもの。

補正予算

一般会計で、2223万8千円の追加補正がされました。補正内容と質疑の主なものを掲載します。

●児童支援費

・子育て世帯生活支援特別給付金 100万円

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（道が支給する低所得のひとり親世帯以外の住民税均等割が非課税の子育て世帯）に対し、児童一人当たり一律5万円の特別給付金を支給しようとするもの。

●スクールバス運行管理費

・通学用自動車

1081万円

ひばり号を更新しようとするもの。

★宮部議員

問 修繕できないので、更新しようとするものなのか確認したい。

答 ひばり号は平成13年度に導入したもので22年が経過している。色々と故障も起きていることから、25人、29人乗りのバスに更新しようと考えている。

●中札内小学校管理費

・外部塗装・屋上防水等工事

▲5199万円

令和4年度、令和5年度の継続費で実施している中札内小学校外部塗装・屋上防水等工事について、令和5年度年割額の当初予算額に過大計上があったことから減額するもの。

●中札内交流の杜管理費

・交流の杜体育館床改修工事 4401万円

体育館の床が老朽化していることから、改修工事を実施しようとするもの。

★宮部議員

問 改修内容を確認したい。

答 床が割れたり、ささくれている箇所があることから、安全面を考慮し、床を全て張り替えようと考えている。

また、バレーボールやバドミントンなどの支柱を建てる金具の設置、ラインの引き直しも行う。

★木村議員

問 工期をどのように考えているのか。

また、少年団の練習で使用しているが、調整はどのようにしていくのか確認したい。

答 工期は10月下旬ごろから1ヶ月半ぐらいを考えている。これまでの利用状況を確認すると、その期間が比較的に利用が少ないことから、この期間を工期にしようと考えている。

また、利用者には他の施設を紹介し、調整しながら使っていただくようにしていきたい。

★北嶋議員

問 交流の杜全体として、今後の修繕をどのように考えているのか。

答 建築からかなり年数が経過しており、特に校舎の老朽化が進んでいる。

体育館については、屋根の改修をしたり、今回は床の改修も行う中で、今後使っていく施設と考えている。

校舎も含めた大規模な修繕計画は、現在の第7期の前期まわりの計画の中で検討して、後期計画には改修計画を載せていきたいと考えている。

第20回中札内村議会（任期：令和5年5月1日～令和9年4月30日）

■議長 中井 康雄
■副議長 宮部 修一
議会運営委員会

委員長 宮部 修一
委員 中井 康雄

大和田 彰子
船田 幸一

総務厚生常任委員会

委員長 大和田 彰子
委員 北嶋 信昭

木村 優子
中井 康雄
宮部 修一

産業文教常任委員会

委員長 船田 幸一
委員 戸水 隆

福原 一斉
中井 康雄
宮部 修一

議会広報特別委員会

委員長 木村 優子
委員 大和田 彰子

戸水 隆
福原 一斉

議会選出監査委員

木村 優子

一部事務組合議会

〇十勝圏複合事務組合議会議員

中井 康雄

〇十勝中部広域水道企業団議会議員

中井 康雄

〇とかち広域消防事務組合議会議員

中井 康雄



議長 中井 康雄

本村の基幹産業である農業の支援サポート、子育て支援の充実、高齢者・障がい者の方々が安心して生活できる村づくり。村民皆様の声をしっかりと聞ける場所づくりに取り組みます。



副議長 宮部 修一

二期八年で得た知識と経験を活かし、三期目もしっかり発言してまいります。

議会が住民の皆様にとっても近づけるよう、議会改革に努めてまいります。



議員 北嶋 信昭

「初志貫徹・有言実行」村民参加の豊かで住みやすく、村民が楽しく暮らせるまちづくり



議員 船田 幸一

〇一人ひとりの笑顔が輝く村づくり！

〇人の和と輪がたがなぐ、まちづくり！

みなさまの想いや願いが反映される村政のために、提言し、行動します。



議員 大和田 彰子

一人ひとりの声に耳を傾けながら、村民の皆様と共に「子育ても老後も安心して住み続けられ、暮らしやすいまちづくり」を目指し、力を尽してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



議員 木村 優子

中札内村がさらに発展し住みよいまちになるよう、住民皆さまの声を聴きながら、子育て支援や様々な分野で有意義な提案をしてまいります。よろしくお願い致します。



議員 戸水 隆

若さをモットーに村民の誰もが断言できる「自慢できる村へ」全力で村づくりに尽力して参ります。新たな風を議会へ。期待に応えます。



議員 福原 一斉

村議会議員として参加させていただけることを誠に嬉しく思います。皆様方のご支援を頂きながら、村の発展や課題の解決に取り組んで参ります。よろしくお願い致します。

～所管事務調査報告～

全議員で 現状を調査！

1月24日（火）に中札内交流の杜の管理状況を調査しました。研修施設（旧校舎棟）は昭和52年に建設され、44年が経過しており、建物劣化の健全度評価では、屋上、内外装及び設備更新の緊急性が高く、早急に対応する必要があると評価されているとともに、温水ボイラーは老朽化が激しく更新が必要な状況にあります。

体育館の屋根修繕、温風ボイラーの更新は完了していますが、温風ボイラーは体育館、トレーニング室及び多目的室を同時に温めており、効率化に課題があります。また、体育館の床は劣化しており、利用者の安全性に問題がある状態にあります。

研修施設について、3階は3人が長期利用している以外、水道、トイレ、暖房が使用できないことからほとんど利用されていません。また、2階も旧音楽室以外ほとんど利用されていません。

今後、研修施設の長寿命化のための修繕が予定されていると

思われますが、これまでの利用状況を検証し、今後の研修室の活用促進計画などを策定する中で、早急に今後の全体方針、改修計画を示すべきと考えます。また、体育館側の暖房施設は、暖房方法を変更するなど効率化に努めていただくことを望みます。



施設の概要説明を受ける様子

本別町の運営方法は？

～まちなか
キッチンスタジオの
運営に向けて～

令和5年度に整備予定である「まちなかキッチンスタジオ」の参考とするため、1月24日（火）に議員全員で本別町を訪問し、「農産物ものづくり館（ゲンキッチン）」について調査しました。

本別町からは議長、町長、産業厚生常任委員長、議会議務局職員2名、担当課職員2名が参加され、説明をいただきました。

農産物ものづくり館は、専任指導員を配置し定期的な料理講習会を開催することで、多くの町民・グループが利用しています。料理講習に参加した方々が自主的にグループを作り、この施設を定期的に利用するようになり、年間延べ1000人以上の町民が利用し、稼働日数も200日を超えているそうです。

中札内村では指定管理者による運営を予定されていますが、運営方針を明確にし、料理講習会の開催など利用者を増やすための方策を講じるとともに、まちなかキッチンスタジオの利用は高齢者が多いと想定されていることから、若い世代に利用されるための方策を検討すべきである

と感じたところです。

また、料理講習会を開催するためには、調理師免許を有する専任指導員の配置が必要であり、専任指導員が中心となり活動を行う中で村民に対するPRを行い、いかにして参加者を増やすことができるかが重要であると考えます。

今後、石油価格の高騰、物価上昇等の影響により、建設費用が当初の予定より多額になることから、建設費用及び外構工事費用の低減に向けた取り組み、最小限の調理器具の更新にとどめることも検討していただくことを望みます。



ゲンキッチンの説明を受ける様子

全国町村議会議長会

自治功労者表彰を

2名の議員が受賞！

●受賞者 中井 康雄氏
北嶋 信昭氏

●在任期間 平成19年5月1日～令和5年2月7日

(町村議会議員15年以上の在職)

全国町村議会議長会の表彰規定に基づき、中井康雄議員及び北嶋信昭議員が自治功労者表彰を受賞されました。

中井議員は平成19年5月に村議会議員として初当選を果たしてから4期(3期目…副議長、4期目(現在)…議長)、北嶋議員も平成19年5月に初当選を果たしてから4期(2期目…副議長)議員としての職務を遂行しています。

3月10日(金)
に議場において
表彰状の伝達が
行われました。



表彰状伝達

次の定例会は6月です！

日程が決まりましたら情報無線・SNS等でお知らせします。議会中継はYouTubeで配信しています。下記のQRコードからアクセスできます。



広報委員を紹介します！

委員長：木村 優子

委員：大和田 彰子、戸水 隆、福原 一斉



新しい広報委員は私達です！

— 編集後記 —

報道記事によると、4月18日告示の町村議会議員選挙では、約3割の立候補者が無投票当選し、北海道や長野県など20の町村で定数割れの結果となりました。十勝管内15町村のうち、選挙となったのは6町村。地方議会における議員のなり手不足が深刻化していることが話題になっています。

議会や議員の活動内容が住民の方に見えにくく、関心や理解を得づらいことが原因の一つだとも言われており、広報の役割は大変重要だと感じています。

より多くの方に中札内村議会を身近に感じていただけるよう、議会広報モニターの方々にもご協力いただきながら、分かりやすく親しまれる「議会だより」の作成に取り組んでまいります。

中札内村議会議員 木村 優子